

所長挨拶

今年度、胆振教育研究所所長を務めることになりました、登別市立幌別中学校の坂本です。昨年度、副所長を務めさせていただき、本年度は所長ということで身の引き締まる思いです。

本研究所は70有余年の歴史を持ち、現場の先生方が所員となって学校訪問をして各校とともに学び、胆振の教育の発展と充実に努めてまいりました。これまでご協力いただいた各市町教育委員会並びに関わっていただいた全ての方々に、改めて深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がなかなか終息に至らず、各校の研究や本研究所との連携も予定の変更を余儀なくされることが続いています。こんな時であるからこそ、各校の実践をつなぎ、高めあうことの重要性を一層強く感じています。昨年度から所報や紀要等を段階的にデジタル化する方向に踏み切りました。優れた実践に基づく胆振の「財」を活用しやすいように発信し、共有化していくことが研究所の大きな役割だと自任しております。一校・一人の頑張りがバタフライ効果を起こし、胆振の教育活動の充実につながっていければ幸いです。

微力ながら所員一同力を合わせ精一杯努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。

所員紹介



所長  
坂本 博  
(登別市立幌別中学校)



副所長  
永井 修  
(伊達市立伊達小学校)



事務局長  
高橋 賢治  
(登別市立鶯別小学校)



事務局次長  
白井 賢司  
(伊達市立伊達中学校)



所員  
渡辺 隆之  
(伊達市立伊達小学校)



所員  
石井 芳政  
(伊達市立伊達西小学校)



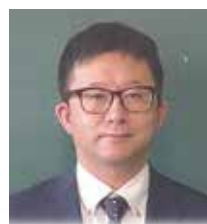
所員  
永井 久  
(登別市立緑陽中学校)



所員  
関川 恭平  
(登別市立若草小学校)



所員  
黒川 知恵  
(白老町立白老小学校)



所員  
藤田 佳嗣  
(伊達市立光陵中学校)

# 胆振教育研究所

## ～所員研修会～

事業の検討・実施  
所員 10名

## ～場 所～

カント・レラ (4～11月)  
登別市民会館 (12～3月)

カント・レラの閉鎖に伴い、年度途中で登別市民会館に場所を移すことになります。

随 時

## 支えていただく9市町

- 登別市 ●伊達市 ●豊浦町 ●洞爺湖町 ●壮瞥町
- 白老町 ●安平町 ●厚真町 ●むかわ町

## 理 事 会

9市町教育長で構成。研究所の組織運営に関することを決定します。

## 運営委員会

各市町教育研究会の代表者、胆振教育局、へき地複式教育連盟代表者、社会教育代表者で構成。  
各事業推進に向けた支援など、研究所と各市町や関係機関を結ぶ役割を担っています。  
必要に応じて開催します。

## 所員訪問

### ●研究委託校・実践校との連携

研究委託校・実践校の研究にかかわって、共に学び、情報の提供を行います。

## 共同研究

校内研修・公開研究会への参加・協力

## 合同研修会

本研究所の研究推進計画の説明や研究委託校・実践校の研究の概要、研究推進の課題・成果について交流していきます。

第1回 6月 書面にて実施

第2回 11月24日(木)

実施予定

## 企画・運営

### ●夏季研修講座

「不登校事例の理解と対応」  
～SC奮闘記!子どもたちから  
学んだこと～  
(予定) 令和4年7月29日(金)

### ●冬季研修講座

「配慮が必要な児童生徒の  
実態把握と指導」(仮)  
(予定) 令和5年1月  
現場のニーズに応じ、指導力の向上につながる講座を企画していきます。

# 胆振教育 研究所 の 事業

## 作成・提供

### ●刊行物・紀要

- ▶今日的な教育課題等を踏まえ、日々の教育活動に結び付く実践的な研究を進めています。
- ▶各校の実践により役立つような紀要等の発行に努めてまいります。ぜひ、ご活用ください。

2月発行予定

## 広報活動

研究委託校・実践校の特色ある教育活動や優れた取組、本研究所の活動内容を分かりやすくお伝えしていきます。

教育いぶり 年2回

所報いぶり 年5回

ホームページ 随時更新  
<http://www.iburi-education.jp>

# 研究所退任者挨拶

## 前 所 長 立 花 和 実 (伊達市教育委員会)

平成11年から4年間、本研究所で事務局次長と事務局長を務めさせていただきました。それから15年を経て、再び研究所の仕事に携わる機会をいただきました。伝統を受け継ぎつつ変革を求めるといふ70年余の研究所の歴史の中で培われた「研究所魂」は今も脈々と所員に受け継がれています。

研究委託校や実践校の皆様をはじめアンケートにお答えいただいた皆様、ICTの実践を提供していただいた皆様、各刊行物の執筆をしていただいた皆様、研修講座に参加していただいた皆様など、実に多くの皆様が研究所にかかわって下さいました。そして、胆振教育局や各市町教育委員会をはじめ、多くの皆様が研究所の活動にお力を貸して下さいました。皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私はこの3月で退任いたしました。胆振教育研究所は、これからも胆振の教育発展のために益々精進していくものと期待しています。

## 前事務局長 武 田 成 永 (室蘭市立港北中学校 教頭)

胆振教育研究所の所員として3年間、お世話になりました。最後の1年は事務局長として仕事に携わり、胆振の教育の発展に少しでも役に立てればという思いで事業を進めて参りました。

コロナ禍での教育現場の様々な変革の中、ICT機器の有効な活用と教育効果について学べたこの1年は貴重な経験となりました。学校訪問ではいろいろな方々との出会い、つながりを持ち、共同研究者の立場で多くのことを学ぶことができたことに大変感謝いたします。

今後も研究所での経験を生かし、胆振の教育の発展に貢献できるよう努力していきます。在任中ご支援・ご協力いただきました関係各位の皆様、本当にありがとうございました。

## 前 所 員 宮 崎 雄 太 朗

(伊達市立光陵中学校 教諭)

研究所員として3年間、大変お世話になりました。特に印象に残っていることは、昨年度担当した調査課題研究です。GIGAスクール構想の実現に向けてICT機器の効果的な活用が求められている中、各校の先生方が日々の研究を怠らず、実践に努めていることを知ることができたのは私にとって大変励みになりました。他にも研究所の所員にならなければ、気付かなかったことや考えもしなかったことがたくさんあり、私の教員人生の中で大変貴重な経験となりました。

今後も日々研修に励み、所員としての経験を生かして胆振管内の教育の充実に寄与できるよう努めてまいります。

★所報で実践紹介をしてもよい学校は、胆振教育研究所までご連絡ください。

## 前 所 員 若 林 梨 恵

(登別市立幌別小学校 教諭)

胆振教育局をはじめ、各市町教育委員会、研究委託校・実践校の皆様には大変お世話になりました。研究所員として1年間、短い時間ではありましたが、今まで出来なかった経験を通して、多くのことを学ばせていただきました。

担当していた研修講座では、従来とは違う実施方法に多数のご迷惑をおかけしましたが、皆様のご理解とご協力のもと、無事計画通り実施することができました。また、研究委託校・実践校への学校訪問では、快く受け入れていただいただけでなく、子どもたちの実態にあった指導法を勉強させていただきました。今後も研究所での経験を生かしながら、子どもたちのために精進してまいります。

在任中お世話になりました皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。